

木更津工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	工学演習 I	
科目基礎情報							
科目番号	0155			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械工学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	配布する印刷物						
担当教員	小田 功						
到達目標							
1. 波動が理解できる 2. 電磁気 that 理解できる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	波動の応用的な演習問題を解くことができる			波動の基礎的な演習問題を解くことができる		波動の基礎的な演習問題を解くことができない	
評価項目2	電磁気の応用的な演習問題を解くことができる			電磁気の基礎的な演習問題を解くことができる		電磁気の基礎的な演習問題を解くことができない	
学科の到達目標項目との関係							
準学士課程 2(2) 専攻科課程 B-2 JABEE B-2							
教育方法等							
概要	機械工学の基礎知識として重要な波動と電磁気の演習をおこなう。						
授業の進め方・方法	1. 教員が基本的な考え方を説明した後、学生が演習問題を解く。 2. 理解度の確認のために適宜、課題を課す。						
注意点	1. 配布資料を紛失することのないよう、ファイリングしておくこと。 2. 出席状況や授業態度によっては、これらの状況を減算して評価する。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	波の方程式		波を式で表すことができる。		
		2週	縦波と横波		縦波と横波の例を挙げることができる。 縦波と横波の特徴を説明できる。		
		3週	波の独立性と重ね合わせ, 固定端と自由端		波が自由端で反射したときと固定端で反射したときの挙動を説明できる。		
		4週	波の干渉, うなり, 定常波		波の干渉現象を説明できる。		
		5週	波の回折		波の回折について説明できる。		
		6週	波の反射と屈折		波の反射と屈折について説明できる。		
		7週	光の反射, 光の干渉		光の全反射について説明できる。 光の干渉現象について説明できる。		
		8週	光の回折		光の回折について説明できる。		
	2ndQ	9週	電気量の単位		電気量の単位について説明できる。		
		10週	クーロンの法則, 電界, 電気力線		クーロンの法則について説明できる。 電界と電気力線について説明できる。		
		11週	電界が電荷にする仕事と電位差, 等電位面, 電位の傾きと電界の強さ		電界が電荷にする仕事と電位差ついて説明できる。 等電位面について説明できる。 電位の傾きと電界の強さとの関係を説明できる。		
		12週	一様でない電界の電位		一様でない電界の電位について説明できる。		
		13週	帯電 1		帯電について説明できる。		
		14週	帯電 2		帯電について説明できる。		
		15週	コンデンサ		コンデンサの原理と合成容量について説明できる。		
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	課題	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	100	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0